

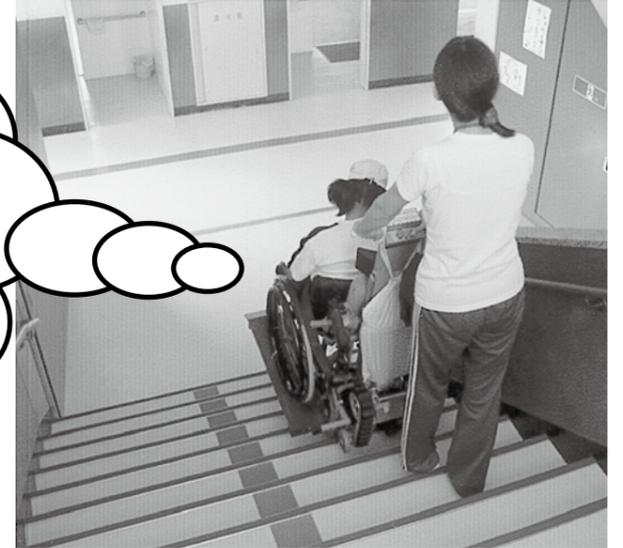
# 補正予算で播磨南中バリアフリー化へ

一部



▲前日の雨で順延となり、9月18日に行われた播磨南中学校の体育大会

播磨南小学校では、蓮池小学校から移管された階段昇降機をメンテナンスしながら使っています。この昇降機は、今後、播磨南中学校で活躍します。



9月定例会は6日から22日まで開かれ、条例改正など5件、平成23年度補正予算7件の議案を可決しました。また、平成22年度決算認定8件も全て認定しました（議案の審議結果は6ページに掲載）。

なお、10人の議員が一般質問を行い、町当局の考えをたきました。

決算特別委員会に付託し、9月15日から22日までの4日間、平成22年度各会計決算を審査した（質疑などは、4～5ページに掲載）。

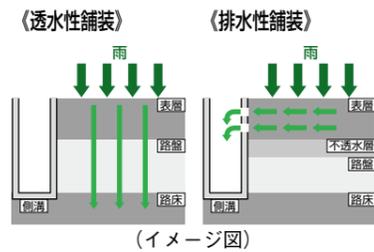
### 決算認定

平成22年度一般会計など  
全会計の歳入歳出決算を審議

各決算を全て認定した。

### 一般会計賛成

危機管理グループの新設や防災行政無線の更新、消費生活専門相談員の配置など、住民の安全と健康・福祉を増進した決算となっている。



明姫幹線（国道250号）の瓜生の交差点から北へ約820mの交差点まで、車道は排水性舗装、

### 契約

土山新島線舗装改修工事  
請負契約締結2730万円

可決

歩道は透水性舗装を行う。工事期間は平成23年12月22日までの予定。

### 排水性舗装とは

雨水を路面にとどめることなく、舗装内から排水施設に流す機能をもった舗装で、スリップ・水ハネの防止、走行音の低減の効果がある。

### 透水性舗装とは

道路路面に降った雨水を舗装内のすきまから地中に流す機能を持った舗装である。

### 補正予算

南中への多目的トイレ設置など  
一般会計8789万円増額

可決

一般会計に8789万5千円を追加し、歳入歳出の総額を97億1520万3千円とする議案を全会一致で可決した。

増額の主なものは、播磨南中学校で障がい者用多目的トイレ、スロープ設置など1120万円、町道浜幹線の整備工事に伴う入り口扉の新設やフェンス改修など2506万3千円。

がん予防、早期発見、受診促進を図るため、大腸がん検診や肝炎ウイルス検診助成には512万4千円。対象の40・45・50・55・60歳の方には、検診手帳と無料クーポン券が送付される。

議場内を車いす対応に変えるバリアフリー工事は903万円。住宅への太陽光発電システム設置補助は608万円で、これは現在、申請が月平均10件あり、当初予算より76件の増加を見込む。

こども医療費助成は316万7千円で、10月から、小学4～6年生を対象に外来受診の自己負担分の3分の1を補助する。また、法令改正により、来年3月末日までにスプリングカラーの設置が義務付けられるグループホームなどに対し、補助金1040万4千円を増額する。

問 南中の多目的トイレの設置場所は。

答 西側校舎の2階トイレを一部改良する。

問 南中の入り口扉の新設は。

答 浜幹線側に新設し、生徒の主な入り口となる。

### 賛成

権利擁護や成年後見人制度のシステムづくり体制、また南中バリアフリー事業や議場の改修事業は必要である。